

令和 2 年度業務実績報告書

提出日 令和 3 年 1 月 19 日

1. 職名・氏名 教授 北村知之

2. 学位 文学修士、専門分野 美学美術史学、授与機関 京都大学大学院、
授与年月 昭和 58 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 美学（2 単位） 1、2、3 年生	
②内容・ねらい 美学の基本的問題や基礎的概念について説明し、人間にとっての美的問題の重要性を認識させると共に、美的問題について学生自らが考える機会を提供する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 抽象的概念を扱う講義であるが、理解を助けるために、画像資料をできるだけ多く用いるようにした。 毎回、リアクション・ペーパーの代わりとして、Zoom のチャット機能を活用した。また学生コメントに対する解説を次の週に行い、理解を深めさせた。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 美術史（2 単位） 1、2、3 年生	
②内容・ねらい 古典的な西洋美術の名品に親しむとともに、それらが形成された歴史的な文脈を理解することによって、美術と歴史との密接な関係を認識する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 すべて Zoom 授業であったため、Google Classroom を通じて、資料提供やレポートのやりとりを行った。配付プリントは pdf ファイルでアップロードし、レポートは Google ドキュメントを利用した。毎回、リアクション・ペーパーの代わりとして、Zoom のチャット機能を活用した。 本講義は、科目の特性上、多数の画像資料を用いるが、オンライン授業は個々の学生が画像をより鮮明に見ることができるというプラスの効果があったようである。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 芸術学（2 単位 毎年度開講） 1、2、3 年生	
②内容・ねらい 近代美術を取り上げながら、今日における芸術の意味について考えるきっかけを与える。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 画像教材はもとより動画なども織り交ぜて、飽きのこない講義となるよう工夫した。 配布プリントは、空白箇所をもうけ、学生が書き込んで完成させるという形式をとった。 毎回、リアクション・ペーパーの代わりとして、Zoom のチャット機能を活用した。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 宗教学（2 単位） 1、2、3 年生	

②内容・ねらい 加藤裕美准教授の「宗教学」においてキリスト教の回に出講した。宗教としてのキリスト教の基本的性格を理解させることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 キリスト教美術を見せて、できるだけ具体的にキリスト教のイメージが捉えられるように工夫した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 日本の文化と社会（2単位）1、2、3年生
②内容・ねらい 学術教養センター教員によるオムニバス講義である。『もののけ姫』を統一的題材として取り上げ、これを教員がそれぞれの専門から分析・考察することによって、一つのものが持つ多様性と面白さを学生に理解させる。報告者は、宮崎アニメの芸術学的意義を論じ、映画の特性を理解させることを目指した。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 パワーポイントのスライドに、動画を多数取り込み、内容をより視覚的かつ直接的に理解できるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 比較文化論（2単位）1、2、3年生
②内容・ねらい 世界各地をフィールドにしている学術教養センター教員によるオムニバス講義であり、個々の国や地域について多様な角度からアプローチする姿を示して、学生たちの目を世界に向けさせる。もって学生たちの視野を広める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 報告者は本講義の企画と運営責任者として、全体を取りまとめ、また授業計画が円滑に進行するよう連絡調整に尽力した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 導入ゼミ（1単位 前期開講）1年生
②内容・ねらい 1年生前期の必修ゼミ。「ヨーロッパの都市と芸術」というテーマでヨーロッパの地理・歴史・文化財に目を向けながら、資料調査、文献目録作成、ノート作成、パワーポイントによるプレゼンの実演など多様な課題を課して、大学での勉学の基礎を学ばせた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 本年度はコロナ禍ですべて Zoom 授業であったため、学生と疎遠になりがちであると考え、授業時間以外においても頻繁に学生と連絡を取り合って、学生のゼミへの帰属意識を強めるように心がけた。単位の取得計画や勉学の状況などについても細かく指導した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 教養ゼミ（1単位 後期期開講）1年生
②内容・ねらい インターネット上の英語サイトの中から、著名な映画作品についてのテキストを選び、それを AI 翻訳させ、両者を比較し、学生に議論させた。ネット上の自動翻訳は日々進化し、現在実用に耐えるレベルに達しつつあるが、それでも肝心な点での誤訳が見られる。そこに注目させることによって、学生の構文意識を高めることを目指した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ネット上の英文サイトにアクセスする学生は自動翻訳を利用していると思われる。英語の実用性という観点から、学生にとってきわめて有用な素材をテキストに選んだ。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 学術ゼミ（2単位×2 毎学期開講）2，3，4年生
②内容・ねらい 知的向上心旺盛な学生を対象として、いくぶん哲学的な文化論のテキストを講読しながら、要約の作成、質疑応答を繰り返して、読解力・思考力・表現力を向上させることを目指している。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 この授業には、向学心に溢れた学生が集っており、本学の他の授業では経験できない授業形態となっている。異なる学年の学生が知的な議論をする機会となっており、学年の上下で互いに良い効果を及ぼしあっている。
(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 西洋史概説（2単位）滋賀県立大学
②内容・ねらい ヨーロッパの近代以前を民族移動という観点から概観することによって、今日のヨーロッパが抱えている民族問題について考えるための基本的知識を身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ノート用の空白部を設けたテキスト冊子を用意した。学生はこのノートを完成させるためにいっそう講義に集中していた。
④本学における業務との関連性 隣県の県立大学の事情を知ることができ、本学での諸業務についての改善を考える際に大いに参考になった。また受講生は人間文化学部の学生が主であり、本学の学生とは関心の在り方が異なっているが、これも教員としての視野を広げるのに有益であった。
(3)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
美学会	

5. 地域・社会貢献活動

国立病院機構あわら病院臨床研究審査委員会委員(2006～現在)

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
学生支援委員 学術教養センター予算委員長 学術教養センターカリキュラム委員 来年度新規採用教員に関する人事委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など